

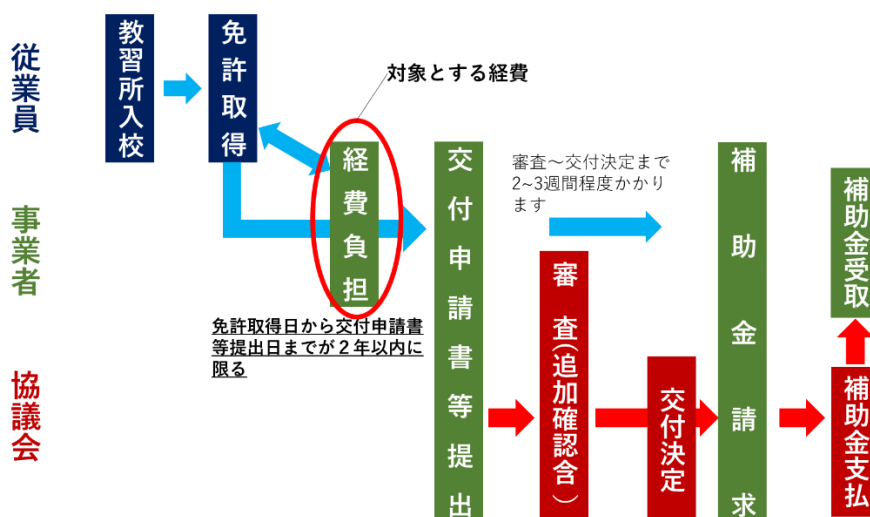
令和5年度事業報告について

1 公共交通事業者支援

○二種免許（普通・大型）取得支援（公共交通事業者への補助事業）

南信州圏域内の地域公共交通を、自主運行・行政からの委託等により担っている交通事業者を対象とし、その従業員が、大型・中型・普通自動車第二種免許のいずれかを取得した際に要した費用のうち、自動車教習所（道交法第99条第1項に規定）の教習料を補助対象事業者が負担した金額を対象経費として助成する事業を実施した。

- ・事業開始前に各事業者ヒアリングしたところ、従業員が免許を取得する際にかかる費用を全額負担する事業者が殆どであることから事業者支援として実施。
- ・募集開始後すぐに予算上限を超えた申請をいただいたため、予算流用を行い対応した。
- ・内訳としては、大型6名、中型1名、普通6名の計13名で、30～40代の方が半数。



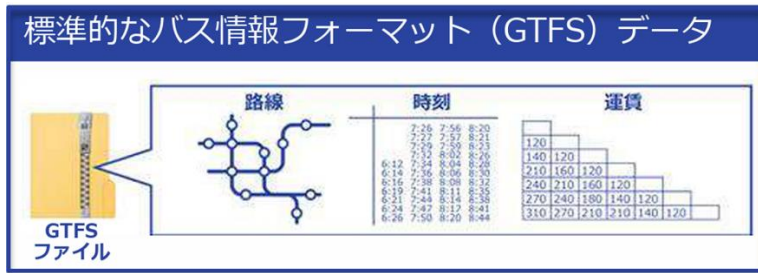
2 地域公共交通見直し支援事業

○南部地域公共交通調査事業

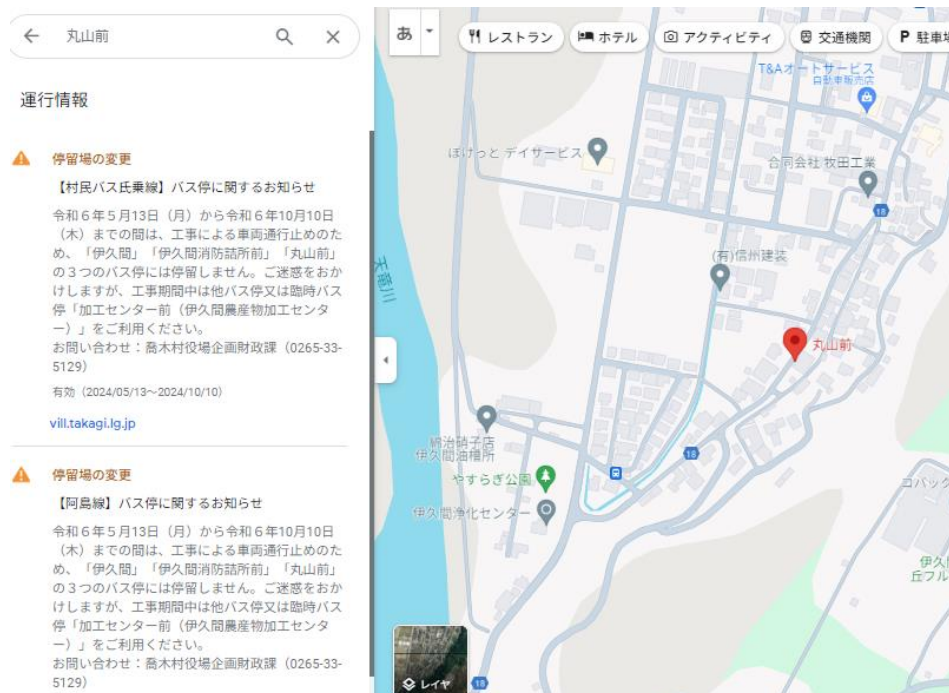
- ・国の補助制度を活用して、高校生（阿南高校生、保護者）へのアンケート調査、民生委員等への聞き取り調査、行政担当者への聞き取り調査、各町村の交通サービスに携わる運転手数の調査等を行い、情報の整理及び改善案の作成を下伊那南部地域交通対策協議会とともに実施。
- ・交通網を維持するための人員確保が特に課題として挙がっており、令和6年度は本調査結果をもとに、関係各者と協議・検討を引き続き進めていく予定。

3 GTFS-JP の整備・活用

(1) GTFS-JP の整備



- ・GTFSは、経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的とした世界標準の公共交通データフォーマット
- ・先送りとしていた数路線（支線）のデータ整備が完了したことにより、南信州圏域内の定時路線については、全てデータ整備を完了
- ・Googlemap 上でのアラート更新に関する研修会を実施し、路線情報の発信手段を増やすことに努めた。



(図は、Googlemap 上でのアラート表示 (図左側) として実際に表示されているもの)

(2) オープンデータサイトへの GTFS データ登録・情報提供及びデータ更新維持

- ・Google 乗換案内へのデータ登録及び更新
- ・GTFS リポジトリ※へのデータ登録及び更新

※GTFS データ専用のオープンデータサイトで、同サイトからデータをダウンロードできるようになっている。現在確認している経路検索サービスでは、Navitime、Yahoo! 路線情報、ジョルダン等。その他のサービスでも使われている。

2 交通不便者や来訪者に対応した公共交通の利便性向上の取組

圏域の公共交通に関する情報や路線図・時刻表を提供し、来訪者を含めた利用者の利便性向上に努めた。

(1) 「南信州公共交通インフォメーション（南信州の公共交通ポータルサイト）」

来訪者を含めた利用者の利便性向上につながるバス・乗合タクシー・JR 飯田線の情報発信及びサイトの管理運営を行った。

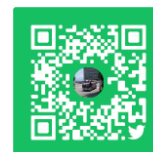
URL <http://kk.minami.nagano.jp/>



(2) 公式 Twitter 「南信州おでかけインフォ（旧南信州地域交通問題協議会）」

バス・飯田線の運休・遅延等の情報に加え、おでかけにつながる観光情報の発信を行った。

Twitter : 「南信州おでかけインフォ」



(3) 災害情報・運休情報の発信（常時）

上記2ツールを用いて、急な運休情報・大雨時の運休情報や道路状況等を利用者に対し、発信を行った。

3 利用者層及び利用者数の拡大

(1) 新入生（高校生新1年生）に対する公共交通利用啓発活動

南信州圏域の8高校におけるオリエンテーションの際に公共交通利用に関するチラシを配布。

（R5年度新入生 1,410人（昨年度より40人減））

(2) 市町村が行う乗り方教室の支援

大鹿村の乗り方教室で、大鹿中学校の卒業生に向けて、一般的な乗車マナーや注意点等の説明などを行った。

(3) 南信州環境メッセ2024における乗り方教室等の実施

信南交通株式会社様にバス車両を出していただき、南信州環境メッセ2024にて子供向けにバスに親しみながら利用の仕方を学べる乗り方教室を実施した。また、経路検索が可能となった旨について併せて周知を行った。

4 関係機関との協議・検討・勉強会

(1) バスダイヤ調整関係協議

基幹路線を担う信南交通株式会社より、阿島線・駒場線・市内循環線等の減便について協議があったことから、バスダイヤ調整会議の開催や下伊那郡の教頭会での説明対応等を実施した。

(2) 各地域公共交通会議

飯田市、阿智村、喬木村、高森町、下伊那南部地域交通対策協議会、西部コミュニティバス

(書面決議) の各協議会への参加

(3) 長野県交通活性化協議会及び長野県地域公共交通計画等に関する対応

- ・9/13、3/21 の会議及びその他担当者会議等に出席
- ・県計画のうち、南信州の地域編の修正・取りまとめ等を実施
- ・長野県内高速バス路線「みすずハイウェイバス」に関する調整の実施

(4) リニア二次交通に関する会議

11/16 第1回リニア駅アクセス検討会議に出席（その後、アクセス検討会議は未開催）

(5) 県下統一 IC カード導入に関する検討

長野県交通活性化協議会にて、路線バスに導入を進める決済方式について、地域連携 IC カードを検討に関する基本方針があることから、東日本旅客鉄道株式会社と秘密保持契約を締結し、検討を進めており、令和6年度も引き続き検討を進めていく。

5 地域公共交通確保維持改善事業等の補助申請業務

各協議会の地域公共交通確保維持計画の一括申請（申請者は南信州地域交通問題協議会）の対応等を下記のスケジュールで対応した。

- ・令和6年度計画の提出 6月末
- ・令和6年度計画の修正・指摘事項対応 7～9月
- ・令和5年度計画分の交付申請対応 10月～12月
- ・令和5年度計画分の再算定・各指摘事項対応等 1月～3月
- ・令和5年度計画分の各申請者への交付 4月中旬にのべ13団体への交付金の支払いが完了

令和5年度 南信州地域交通問題協議会 決算

収入	50,531,760 円
支出	50,171,339 円
差引	360,421 円 (令和6年度繰越)

(収入)

(単位：円)

科目	R5予算	R5決算額	比較増減	備考
負担金	2,955,000	2,955,000	0	南信州広域連合負担金 2,455千円 南部地域交通調査負担金 500千円
繰越金	1,222,741	1,222,741	0	R4年度繰越金
国庫補助金	70,453,000	46,354,000	△ 24,099,000	○R5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 運行費補助 41,822千円 減価償却 3,404千円 (1月補正での増額がなかったことで大幅な減) ○南部地域交通調査事業 1,128,000円
借入金	0	0	0	
諸収入	16	19	3	
計	74,630,757	50,531,760	△ 24,098,997	

(支出)

(単位：円)

科目	R5予算	R5決算額	比較増減	備考
運営費	297,000	183,568	△ 113,432	講師・委員等報償費(総会1回、幹事会1回)、他講演料2回
需用費	48,757	4,752	△ 44,005	事務等消耗品
役務費	50,000	24,824	△ 25,176	通信運搬費、振込手数料、出張時駐車場使用料等
交付金	69,325,000	45,226,000	△ 24,099,000	○R5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金同額 45,226千円
事業費	4,910,000	4,732,195	△ 177,805	○公共交通ポータルサイトによる情報発信及びホームページ検討 16,720円 ○公共交通に親しむイベントの開催 38,610円 ○GTFS-JPの整備活用推進 580,965円 ○公共交通事業者支援事業 1,580,640円 ○南部地域交通調査事業費 2,263,580円 ○南信州交通システム備品維持管理事業 251,680円
計	74,630,757	50,171,339	△ 24,459,418	

予算の執行上必要があるときは、科目間の流用ができるものとする。

令和5年度南信州地域交通問題協議会収入支出決算監査報告書

令和5年度南信州地域交通問題協議会会計の収入支出決算について監査したところ、諸帳簿、証拠書類ともに整備され、正確に処理されていることを認めます。

令和6年 6月 13日

監 事

長野県商工会連合会 南信支所

塚 政則 

監 事

地域ぐるみ環境ISO研究会

福岡 健志 